

まんがで語りつぐ

広島の復興

—原爆の悲劇を乗り越えた人びと—

「まんが」手塚プロダクション

〔シナリオ〕青木健生



はじめに

4

序章

原爆投下

7

第1章

復旧最優先！「水道・電気・ガス」

15

第2章

市民の足、路面電車を動かした女学生

39

第3章

被爆2日後に営業再開した12の銀行

59

第4章

活気づく広島の商い

81

第5章

輸送のかなめ“三輪トラック”

105

第6章

ともに学ぶ “学校”的な再開

第7章

平和を願う街づくり

第8章

心の糧を求めて „映画・音楽・本“

第9章

広島の名物 „市民に笑顔を“

第10章

市民球団・広島カープ誕生！

解説

252

221

195

175

145

121

序章

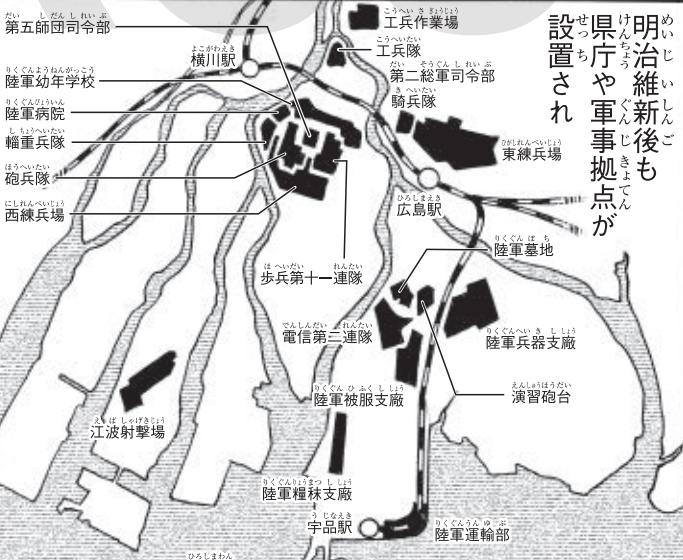
げんばくとうか

原爆投下

(天正一七年)
一五八九年
ねん

毛利輝元が
もうりてるもと
ひろしまじゆう
城を築城して以來

栄えた
城下町
広島はて

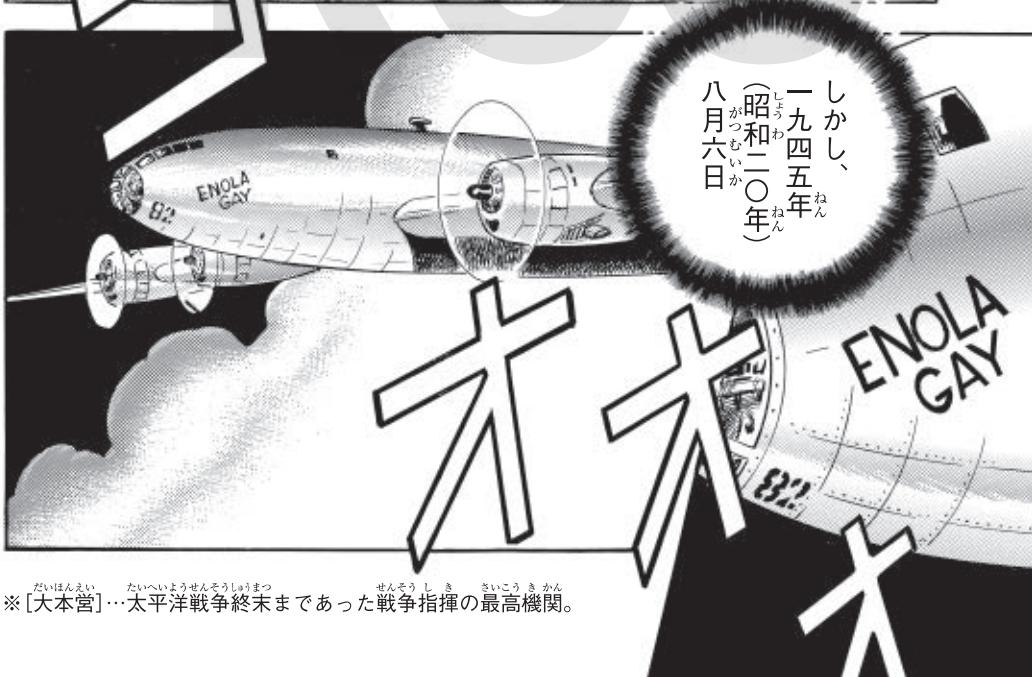


日清戦争（一八九四—一八九五年）では
明治天皇を迎えた。

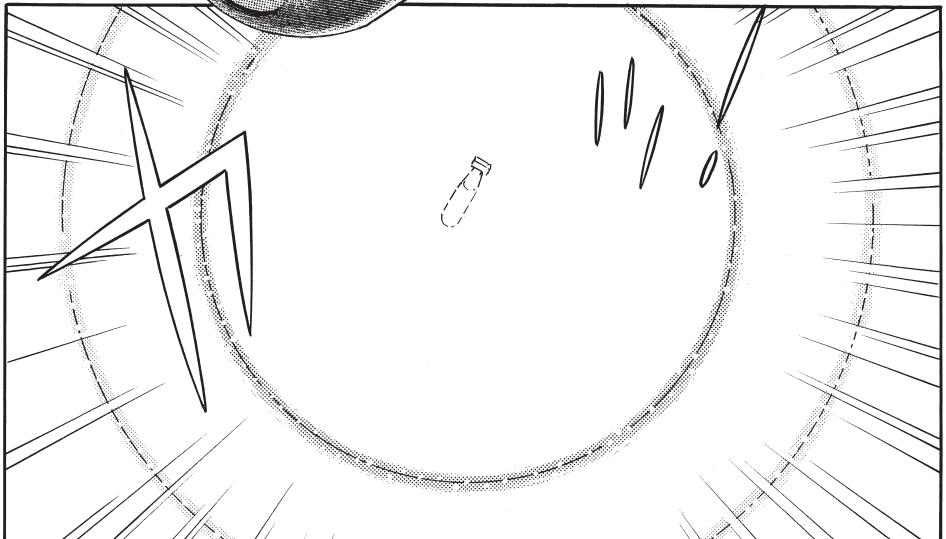
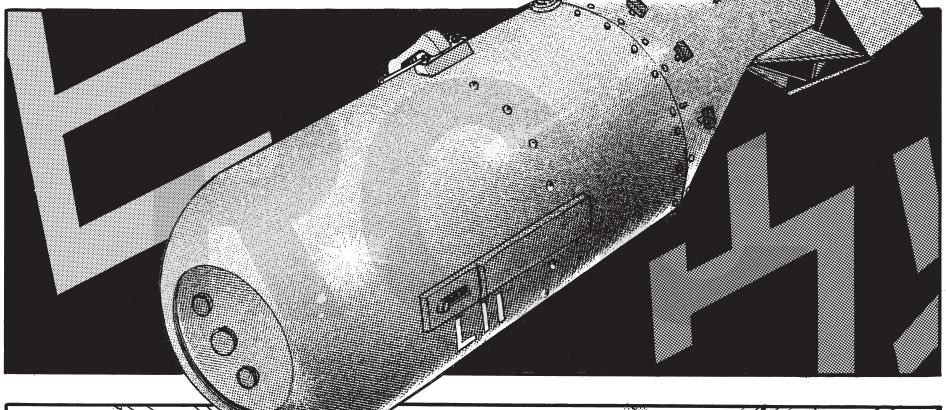
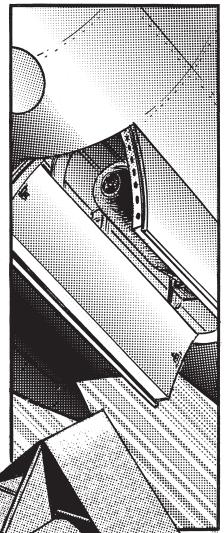
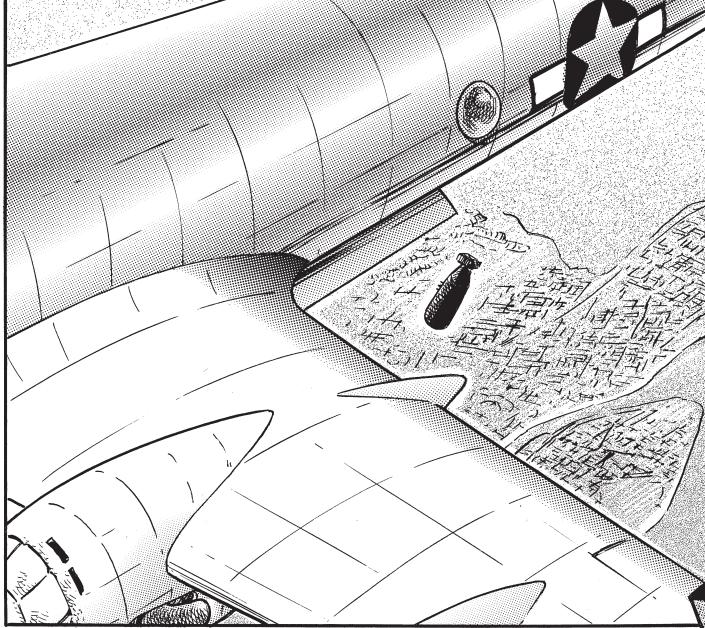
帝国議会も
首都にもなった。
広島で開かれ、一時的に

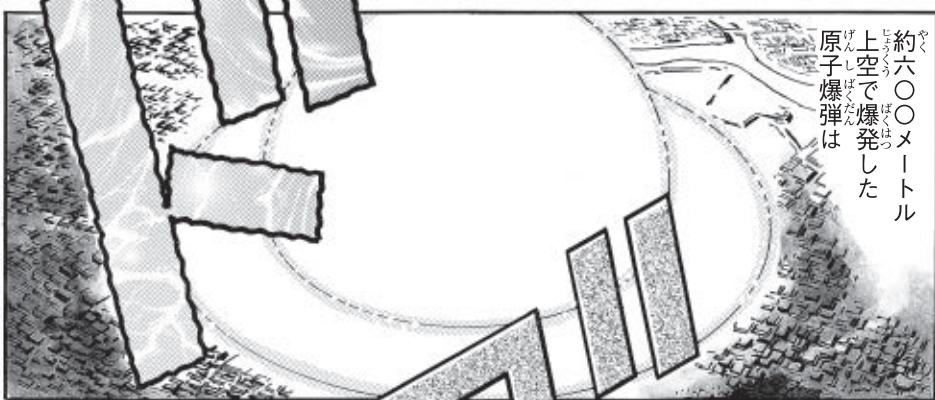


人口四〇万人を
超える大都市
として発展した。

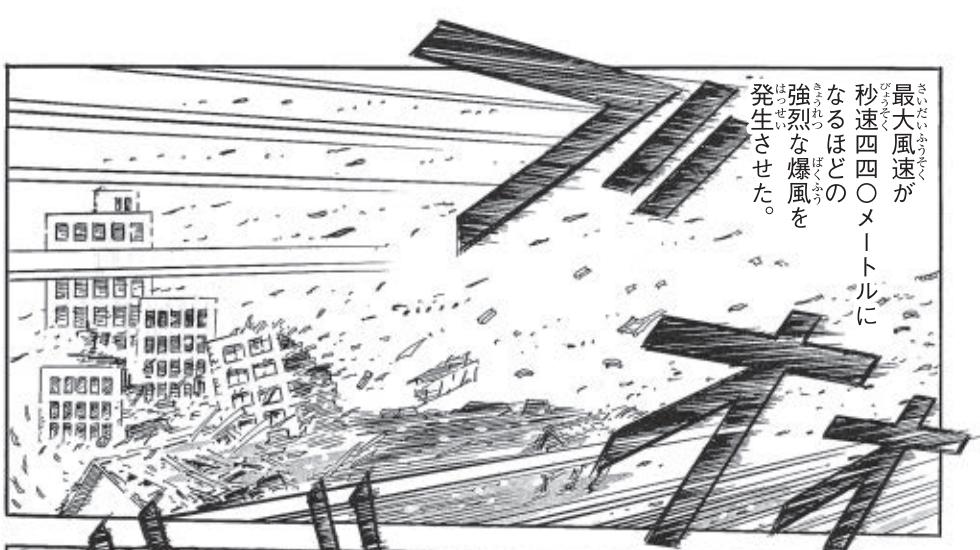


※ [大本營] …太平洋戦争終末まであった戦争指揮の最高機関。





さいだいふうく
最大風速が
秒速四四〇メートルに
なるほど
強烈な爆風を
はつせいた。



さらには
熱線などのため
発火して

大火災が発生し、

爆心地から
二キロメートルを
焼きつくした。

また原子爆弾は人ひとに
放射能を浴びせ、
深刻な被害をもたらした。
まろくのうう



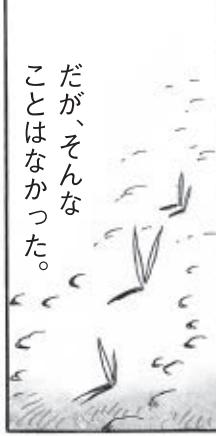
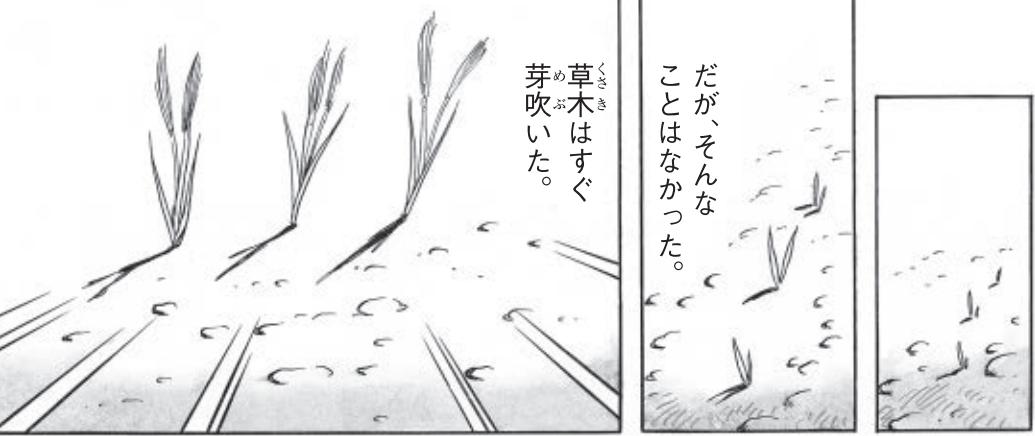
原爆を
落とされた
廣島には
「七五年は草木も
生えぬ」と
言われた。



そして
後遺症に
苦しむ多数の人たちが
いた。

被爆した人は
数日以内に
多くが死亡した。





広島の復興の歩みは
八月六日から
始まつていた。

